

草津市健幸都市づくりの推進について

1 背景・目的

全国で、市民が生きがいをもち健やかで幸せに暮らせる新しい都市モデルとして「健幸都市」づくりの取組が始まっています。地域の担い手である住民が、主体的に健康を維持し、社会参加することで、持続可能で活力ある社会を創ろうとする動きです。

高齢化・人口減少が進んでも住民が「健幸」であるためには、高いリスクを抱える人への適切な対応とともに、生活習慣病や寝たきりの「予防」が重要です。この実現には、地域住民全体への働きかけにより、健康に関心な人にも健康づくりに取り組んでもらえるようなまちづくりが重要となります。

最近では、公共交通が発達している地域や社会的なつながりが高い地域に住んでいる人ほど健康度が高いなど、まちの環境や構造と健康の関係について、様々なデータが出てきています。

市の総合政策として健幸都市づくりを進め、生涯にわたり生きがいを持ち、健やかで幸せに暮らせるまちを創造することで、高齢化・人口減少が進んでも持続可能な予防型社会へと転換を図ります。

2 推進へのステップ

①草津市健幸都市づくり推進本部を設置

市長を本部長とし、部長級で構成された推進本部を設置して、庁内体制を強化。

②草津市健幸都市づくり推進委員会の設置

医療関係や運動スポーツ、都市計画、産業振興などの有識者や関係団体、公募の市民等で構成する外部委員会を設置。

③（仮称）草津市健幸都市基本計画の策定

健康やスポーツに加え、都市計画や公共インフラの整備、健康産業の育成などの様々な計画や政策を健康の側面から捉えた計画を平成28年度中に策定し、29年度から実施予定。

④スマートウェルネスシティ首長研究会への加盟

全国約60自治体や大学、企業等で組織されるスマートウェルネスシティ首長研究会に平成28年4月加盟。滋賀県では初。

目指せ、健幸都市草津！！

～住む人も、訪れる人も健幸になれるまちを目指して～

草津市の現状

大学生、40代、60代が多く、人口は増加

高齢化率は低い、地域毎に状況が異なる

男女とも、全国平均より健康寿命が長い

非肥満高血糖者やメタボが多い

生活習慣に課題があり、生活習慣病リスクが高い

要介護、要支援者は年々増加している

「いま」の私たち「治療」が中心

一般に、生活習慣病予防に運動が必要な人は全体の7割。さらにその7割は、行動や情報収集をしない傾向。

「みらい」の私たち「予防」を重視

仲間とともに、楽しさや喜びがあり、健康意識の高い地域社会に住み、主体的に健康づくりを実践。

変革への課題

- 健康診断の結果や医師の指導を踏まえ、運動や食生活の改善など、健康づくりの必要性を理解はしていても、続けるのは容易ではありません。
- 公共交通の発達や社会的なつながりが、人の健康に影響すると言われます。しかし、まちの基盤整備と健康づくりの連携が必ずしも十分ではありません。
- 高齢化、人口減少が進んでも、持続可能な健康長寿社会を創るため、健康支援サービスの振興や産官学民等の幅広い連携なども進める必要があります。

「治療」から「予防」へ。「草津市に住む人、訪れる人が健康になる。」を目指す。まちの環境整備や、社会的なつながり、健康情報の「見える化」などによって、まち全体の健康意識を高め、治療から予防へ。

意識を高めて健康になる！

意識しなくても健康になれる！

目標と政策

【目標】目指せ健幸都市草津！住む人も訪れる人も健幸に！

【提言1】

まちの健幸

- 1 コンパクト＋ネットワーク（都市計画や公共交通）
- 2 道路、公園、草津川跡地や社会体育施設整備
- 3 まちの賑わいや景観、健康長寿の住まいづくり

【提言2】

ひとの健幸

- 1 年代別の健康啓発とイセンティブの導入
- 2 地域全体で健康に取り組む環境づくり
- 3 運動・学習・いきがい・ボランティア等多様な手段

【提言3】

しごとの健幸

- 1 地産地消を含めたヘルスツーリズムの振興
- 2 ヘルスケアビジネスの振興
- 3 アーバンテザインセンター（産官学民、知の集積）との連携

（仮称）草津市健幸都市基本計画策定に向けた検討内容について（案）

今後、健康関連データの分析や課題整理を行い、基本計画の体系や重点事業、目標設定等を進めます。（仮称）草津市健幸都市基本計画の策定に向け、検討すべき内容や関連事業等を、下記に整理しています。

1 「まちの健幸づくり」

まちの健幸づくりでは、都市計画や公共インフラ整備等の観点から、ひとの健康にアプローチするものです。公共交通の整備状況と生活習慣病の罹患率に、相関関係があるという研究結果が出始めています。

今後の高齢化や人口減少も見据え、まちのあり方を検討する必要もあります。下記の事項を中心に、「まちの健幸づくり」に取り組めます。

論点：健康と都市環境の相関関係が高いと言われる中、都市計画やハード整備を含めた健幸のまちづくりをどう進めるかを考えます。

【各種関連施策】

・都市計画

コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくり、中心市街地の活性化
（例 立地適性化計画、公共交通リノベーション計画の策定）

・公共インフラ

歩道、自転車道、公園等の整備やバリアフリーの推進
（例 草津川跡地や野村運動公園等の整備）

・住宅政策の推進

など

2 「ひとの健幸づくり」

ひとの健幸づくりは、これまで最も注力してきた部分です。けん診結果による高いリスクの人への適切な対応に加え、運動、スポーツ、健康な食の推進等により、地域住民全体への働きかけの強化にも取り組めます。

特に、健康データの見える化の更なる推進やインセンティブ（誘導策）を検討するとともに、社会的なつながりの力も活かし、市民とともにひとの健康づくりを推進します。

論点：ハイリスク者への適切な対応と、地域住民全体への働きかけの強化を考えます。

- ・特に人口が多い「働く世代」の健康づくりや運動量の増加にどう取り組むか
- ・2025年に向かって、高齢者の健康や介護予防にどう取り組むか
- ・生涯を通した健康づくりにどう取り組むか 等

【各種関連施策】

- ・ 行動変容に向けたインセンティブの付与、社会的なつながりの強化、
健幸ポイント制度、元気シニアボランティアポイント制度、
地域活動・ボランティアポイント制度、
ソーシャルビジネス、コミュニティビジネス
- ・ 地域の課題や特色に応じた健康づくり、健康データ等の見える化、
まちづくり協議会の健幸宣言、健康のまち草津モデル事業、
データヘルスの推進、特定健診・保健指導の受診率向上
- ・ 生涯を通じた健康づくりの推進

など

3 「しごとの健幸づくり」

しごとの健幸づくりは、地産地消を含めた健康に関するツーリズムやビジネスの振興に関する方策を検討します。あわせて、健幸都市の推進に向け、大学や企業をはじめとした様々な団体との連携方策についても検討を進めます。

論点：次のような取り組みを検討します。

- ・ 地産地消を含めた健康に関するツーリズムやビジネスの振興をどう図るか
- ・ 大学や企業をはじめとした様々な団体との連携をどう図るか

【各種関連施策】

- ・ 新たな健康支援サービスの振興や様々な関係団体との幅広い連携
ヘルスツーリズム、ヘルスケアビジネス、地産地消関連事業
アーバンデザインセンターとの連携、デザインをいかした戦略的広報

など

■草津市健幸都市基本計画策定スケジュール

年月	健幸都市づくり推進委員会	(参考) 市本部会議等
平成28 年6月		◎第1回 6月24日
7月	◎第1回 7月8日13:15～15:00 ①計画概要、スケジュール等説明 ②意見交換	◎7月14日市役所 健幸都市づくりワークショップ
8月		◎第2回 8月22日 8月28アミカホール ◎シンポジウム、健幸都市宣言
9月	◎第2回 9月8日13:30～15:30 ①推進方策の骨子等の検討	
10月	◎第3回 10月20日13:30～15:30 ①推進方策案の検討	◎第3回 10月4日
11月		◎第4回 11月24日
12月	◎第4回 12月15日13:30～15:30 ①計画案諮問、委員会答申 ②パブリックコメント要領説明	
平成29 年 1月		◎パブリックコメント1/16～2/15
2月		◎第5回 2月28日
3月	◎第5回 3月23日13:30～15:30 ①パブリックコメントの実施結果報告 ②次年度以降について	

健幸都市くさつ キックオフ シンポジウム

草津市では、今年度から、市民が生きがいをもち健やかで幸せに暮らせる新しい都市モデルとして「健幸都市」づくりに取り組んでいます。これまでの健康政策の枠組みを越え、まちの基盤整備や健康産業の振興なども含め、産官学民が連携した健康施策の推進を図っていく予定です。住んでも、訪れても「健幸」になれるまち・くさつを目指して、一緒に考えてみませんか。



朝原宣治氏
(北京オリンピック銅メダリスト)

日時 平成 28 年 8 月 28 日 (日) 13:30~15:30

会場 草津市立草津アミカホール (草津市役所横)

参加費
無料・
申込要

13:00 受付開始

13:30 開会

13:35~13:50 北京オリンピック銅メダリスト朝原宣治氏と市長による対談

13:55~14:55 パネルディスカッション

テーマ:「健幸都市実現に向けた健康づくりの取組」

コーディネーター: 小沢道紀氏 (立命館大学スポーツ健康科学部准教授)

パネリスト: 朝原宣治氏 (大阪ガス)

海老久美子氏 (立命館大学スポーツ健康科学部教授)

西岡麻美氏 (パナ・パナソニック ビジネスサービス株式会社草津サービスセンター)

福井太加雄氏 (玉川学区まちづくり協議会会長)

橋川市長

15:00~15:30 「健幸都市宣言」「健幸宣言」(草津市、まちづくり協議会、企業・団体等)

- 定 員: 280 人〔先着順〕
- そ の 他: 手話通訳あり ※8月12日(金)までに申込要
- 申込・問合せ: 氏名・電話番号・参加人数を書いて、直接または郵送、ファクス、Eメールで、草津市健康福祉政策課へ

※ 8月19日(金) 必着

草津市健康福祉政策課

電話: 077-561-6889 FAX: 077-561-6780

E-mail: kenkofukushi@city.kusatsu.lg.jp



■草津市の健幸都市宣言（案）

生涯にわたって心も体も健やかで幸せに過ごせること
これはわたしたち共通の願いです

心身の健康には 自分の状態を知ること 適度な運動と休養
バランスのとれた食事など 一人ひとりの取組が大切です
美しい自然や 住みやすい都市環境も大切です
そして ともに住む人と人との絆や協働も大切です

くさは いにしえから 東海道と中山道がまじわる交通の要衝
宿場町として栄えてきました
人と人とが出会い 心と体を休め 旅の疲れを癒してきました
琵琶湖・田園などの豊かな自然環境もあり
そこから得られる 恵みも豊富です
今を生きるわたしたちも この地で 出会いと自然に感謝しながら
住み続け 訪れることで 健幸になれるまちを
ともに創造していきましょう

草津市は 生涯にわたって 一人ひとりが自らの健康を大切に
ともに支え合い ここに暮らすことによって
絆や喜びが生まれ 幸せが感じられる
笑顔あふれるまちを目指して
ここに「健幸都市くさは」を宣言します

■まちづくり協議会の健幸宣言（案）

ち

＜健康意識の高揚＞

ちいきのみんなが健康への理解を深め、健康と幸せの輪を広げます！

い

＜生活習慣の改善＞

いつまでも健やかで幸せな生活が送れるよう生活習慣の改善に努めます！

き

＜生活習慣病等の発症予防＞

きっちり健康管理をおこない健康診断の大切さを訴えていきます！

か

＜栄養・食生活＞

カロリー等、バランスのとれた食生活を心がけます！

ら

＜身体活動・運動＞

らくらく体を動かして、地域の運動習慣を広めていきます！